

8月23日（水）～25日（金）

◇ 関東サイエンスツアー （SSHの取組みの1つとして位置づけています。）

8月23日（水）～25日（金）、1年生の総合理学科39名、普通科2名計41名（引率4名）が関東サイエンスツアーに行ってきました。

このツアーは大学や研究所、博物館等の見学等を通じて、先端の科学技術や研究に対する理解・興味・関心を深めるものです。小グループによる実習も取り入れ、質問・発表・議論する力の育成も図ります。

○ 8月23日（水）

東京大学医科学研究所訪問

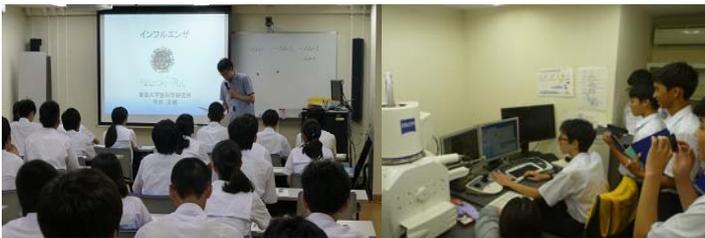
4班に分かれて見学・実習を行いました。



安田講堂前で記念撮影



医科学研究所



最先端の研究や実験装置などの説明もしていただきました



昼食も夕食も東大の食堂を利用し東大生気分でした

<筑波研修センターへ移動、宿泊>（1泊目）

○ 24日（木）

農業・食品産業技術総合研究機構、物質材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構

4班に分かれて各研究機構で実習を行いました。

・ 農業・食品産業技術総合研究機構（午後から2班に分かれました）

午前

午後



畜産研究部門



果樹茶業研究部門



農業環境変動研究センター

・高エネルギー加速器研究機構

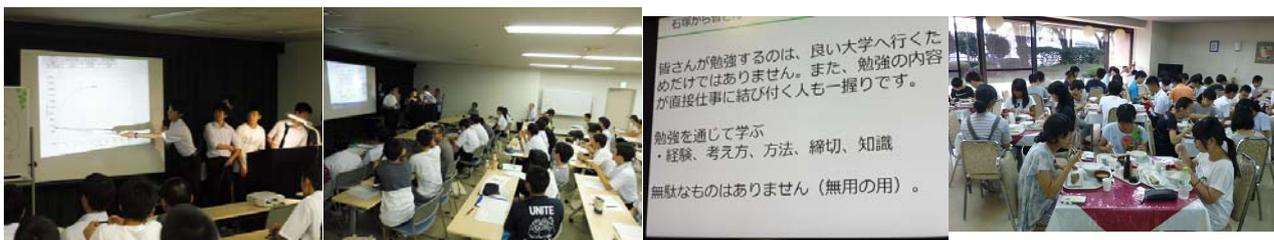


電子や陽電子を加速する加速器を利用した研究が行われています。
国際共同実験の中には、世界20ヶ国以上の700名近くの研究者が参加するものもあるそうです。

Bファクトリー実験施設

<筑波研修センターへ移動> 2泊目

夜：班ごとに、研修の成果をまとめてプレゼン。相互に質問も出ました



プレゼンの様子

研修センターにて

○ 25日（金） 日本科学未来館（ディベート実習、自由見学）

東京の臨海副都心（お台場）にあり、宇宙飛行士の毛利衛さんが館長を務めている日本科学未来館で実習と見学を行いました。

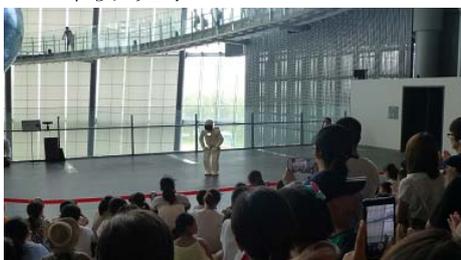
この館は科学技術振興機構（J S T）が整備したもので、常設展示や企画展のほか、実験教室やトークイベントなど多彩なメニューが用意されています。

午前：ワークショップ 「生物多様性について」



今回は①ネイチャーガイド、研究者、先進国の消費者、途上国の漁師、有機農家、グローバル企業社員の班に分かれ、②班ごとにリーダー、発表する人、書く人、突っ込む人などを決め、③データなどをもとに他の班を説得できる理由を考える、というワークショップ

午後：見学



asimoです



未来館の特徴は、体験はもちろんですが、おおぜいの科学コミュニケーターやボランティアの方が対話を通して科学を教えてください。

このツアーを通して生徒たちのモチベーションも大いに高まったことと思います。

引率の濱先生、繁戸先生、潮海先生、大榎先生には3日間おつかれさまでした。ありがとうございました。